

平成27年度 南魚沼郡市道徳部活動報告

部長 須藤 高志

1 研究主題

- (1) 主題名 「実践力を高める道徳授業の工夫」
～特別の教科「道徳」の実施を見据えて～
- (2) 設定の理由

学習指導要領が改訂され、特別の教科「道徳」が、小学校では平成30年度から本格実施される。その目標は「道徳的諸価値についての理解の基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。」と示されている。これを受けて、道徳の時間の授業改善をいかに進めるかを共に学び合っていくことが必要と考える。

2 研究の概要

- (1) 8月4日 南魚沼市学習指導センター道徳研修講座への参加
- (2) 8月19日 南魚沼郡市小教研道徳部研修会（塩沢小学校と共催）の実施
- (3) 11月10日 道徳研修会（塩沢小学校と共催）の実施

3 研究の実際

- (1) 南魚沼市学習指導センター道徳研修講座「道徳の教科化に向けて」への参加
中越教育事務所学校支援第2課廣田芳宏課長から、「考える道徳」など今後求められる授業像についての講義を受けた。
 - ・特別の教科「道徳」の本格実施に向けてどのような準備を進めたらよいか学んだ。
 - ・教科の目標と授業改善の方向性についての実践的な講義を受けた。
- (2) 南魚沼郡市小教研道徳部研修会の実施
塩沢小学校との共催で、新潟青陵大学の中野啓明教授、十日町市立水沢中学校の稲田修教頭を講師として、「道徳授業ワークショップ」研修会を実施した。
 - ・「二つの意見」を用いたPISA型道徳授業モデルの意図と実践について講義を受けた。
 - ・資料を用いて授業モデルを作る演習を行い、意見交換をしながら研修を深めた。
- (3) 道徳研修会（塩沢小学校と共催）の実施
8月19日の研修をさらに深めるため、道徳授業の研修会（公開授業参観・研究協議会、全体指導会）を行った。
 - ・公開授業参観・研究協議会では、「私たちの道徳 5・6年」の資料「その思いを受けついで」を用いて、家族を思いやり助け合っていこうとする心情を育む授業を参観した。その後、「二つの意見」を用いた授業スタイルの有効性について研究協議を行った。「二つの意見」を用いることによって、話し合いを焦点化し、より主題に迫ることができることや全員参加による道徳授業が行いやすくなる等の意見が出た。
 - ・全体指導では、新潟青陵大学の中野啓明教授から、新学習指導要領に準拠した内容を学校現場が工夫しながら進めるべきことについて指導を受けた。「二つの意見」は、対立的見方として用いるやり方も対比的見方として用いるやり方もあり、ねらいと資料によって検討する必要があることが示された。また、評価について「道徳科」で学んだ価値について、1時間の変容を見取るだけでなく、価値の重点化によって変容を見取る評価もあり得ることなどが紹介された。

4 成果と課題

道徳の授業改善の一つとして、「二つの意見」を用いるやり方は、道徳的価値に焦点づけた話し合いや道徳授業のユニバーサルデザイン化に有効であることが確認された。道徳の教科化は、教科書が未定であるが、すでに始まっているという意識をもち、自校の道徳教育の課題を明確にして、新学習指導要領に基づいた全体計画の作成や授業改善の方法を実践的に進めていきたい。